

図 - 2 格納容器送気ラインベローズ取替工事

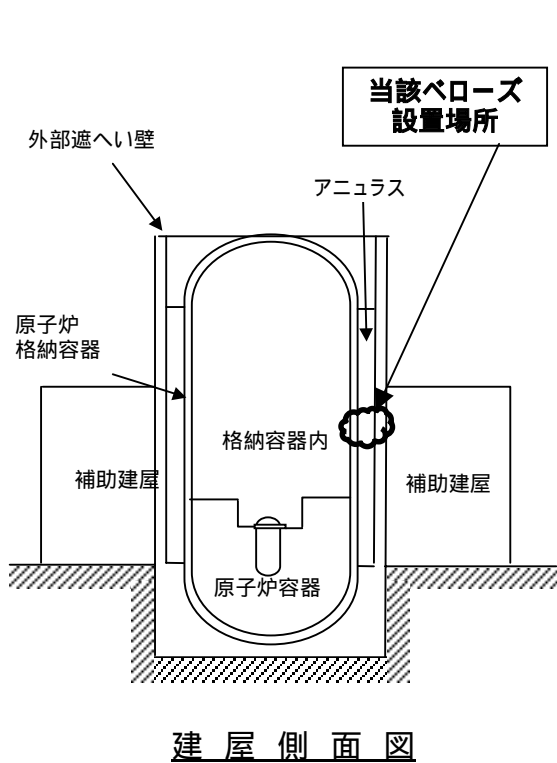
工事概要

前回定期検査において、格納容器送気ライン*1のベローズ(伸縮継手)でわずかな漏えいが確認され、接着剤による補修を行っているが、今後の保身に万全を期す観点から、当該ベローズおよび前後の配管を同仕様(ステンレス)のものに取り替える。

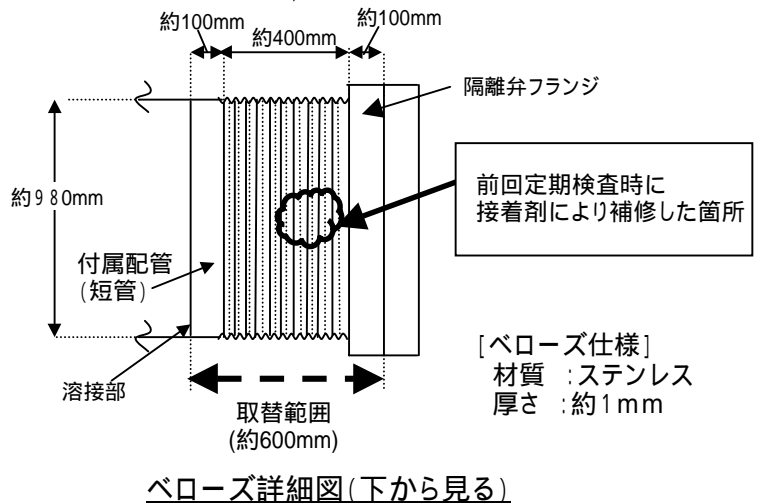
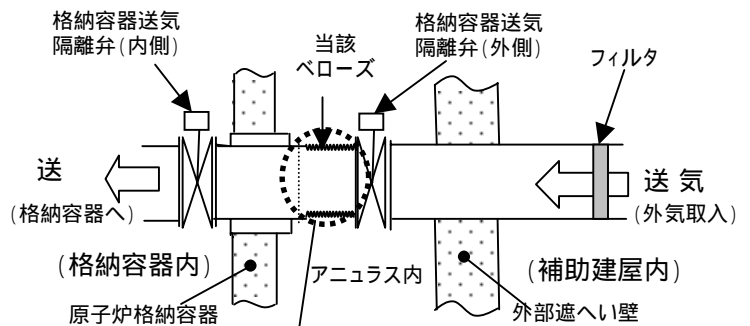
*1: 格納容器送気ライン

定期検査時などのプラント停止に、外気(空気)を格納容器内へ送る配管

ベローズ取替箇所概略図



ベローズ取替範囲拡大図



[事象の概要]

美浜2号機第21回定期検査(平成15年度)において、格納容器外周部に設置しているベローズ(伸縮継手)で貫通穴が認められたことから、接着剤の塗布により損傷部の補修を行い、第22回定期検査(平成16年度)において、当該ベローズ配管を同仕様(ステンレス)のものに取り替えた。

原因は、取り入れた外気に含まれるわずかな海塩粒子がベローズ内面に付着・濃縮したことによる塩素型応力腐食割れと推定された。

なお、美浜1号機においても、前回定期検査でわずかな漏えいが確認されたことから、接着剤を塗布し損傷部を補修している。